

## 中谷 久恵

HAKATANI Hisae

医系科学研究科

### 事務部門に支えていただいた教育・研究活動

広島大学へは 2011 年 9 月に着任しました。東日本大震災の年でしたので、この 12 年半は震災の復興の歴史と重なります。初めての土地への単身赴任で淋しいなか、私の前任大学へ異動で赴任されていて顔見知りだった課長さんが名前を見つけて霞の研究室まで訪ねて来てくださったときには感激しました。広島大学の特徴は課長さんの思いやりに代表されるように、事務部門と教員との距離が近く教育や研究を大切にしてくださるサポートだと思えます。2014 年と 2018 年豪雨災害、2020 年からの COVID-19 など、公衆衛生看護学分野の職務は社会情勢に揺られた教育と研究の連続でした。困りごとの相談先はいつも事務で、学生支援、総務、会計、人事・福利のみなさまには、教員では目配りできない多面的なアドバイスをいただいたおかげで乗り切れたと言っても過言ではありません。この場をお借りしてご面倒をおかけしたお詫びとお礼を申し上げます。陰ながら今後の広島大学のますますのご発展を祈念しております。

## 祖父江 育子

SOBUE Ikuko

医系科学研究科

### 皆さまへの感謝を込めて

本年をもちまして定年を迎え退職することとなりました。早いもので広島大学に奉職し、13 年が経ちました。

ご指導を賜りました広島大学の教職員の皆さまに深く感謝しております。お導きを賜りました皆さま、ご支援を賜りました皆さまに心から御礼申し上げます。特に、コロナ禍での実習は、広島大学病院看護部の皆さま、ゲーンズ幼稚園の皆さまなど、たくさんの施設・部署の皆さまに格別のご厚情ご高配を賜りました。そして、なによりもお子様とご家族の皆さまにかけがえのないご支援、ご協力を賜りました。未曾有の困難のなか、学生は学修を全うし、希望を実現し社会で活躍しております。実習でのたくさんの出会いを通し、学生が看護への敬意と信頼を深めることができましたこと、衷心より御礼申し上げます。

最後に広島大学のさらなるご発展と、皆さまのご健勝とご多幸をお祈りして、退職の挨拶に代えさせていただきます。長い間、本当にありがとうございました。

## 岩崎 克己

IWASAKI Katsumi

外国語教育研究センター

### いろいろありがとうございました！

就学前の小さな子供を 2 人連れ、家族 4 人で前任教のあった福井から西条に赴任して以来 27 年が経ちました。外国語教育研究センターという、学内政治に翻弄されやすい小さな新設部局にいたため、この間紆余曲折はいろいろありましたが、それでも、充実した情報環境と良い同僚たちには恵まれ、また素直すぎるくらい素直で真面目な学生たちのおかげで、研究者としても教員としても、幸せな現役人生を送ってこられました。特に「インテンシブコース」や「外国語トライリンガル養成特定プログラム」など全国に誇れる広大独自の初修外国語教育とその枠組み作りに、多くの先生方と一緒に関わってこられたのは私の誇りです。最後になりますが、書類作成能力に問題のある私たち教員を辛抱強く支えてくださった事務の方々と、LMS やホスティングサービスなどを通じ研究教育を縁の下で支えてくださった情報メディアセンターの関係者の方々に改めてお礼申し上げます。

## 中島 覚

NAKASHIMA Satoru 自然科学研究支援開発センター

### 諸行無常

平成 3 年 2 月 1 日付で理学部化学科に採用いただき、平成 7 年にアイソトープ総合センターが設置された際にそちらに異動しました。非密封 RI 利用増加のため、異動後最初の仕事はセンター施設の増改築でした。概算要求はなかなか通りませんでした。理学部、本部の皆さまのおかげで何とか通り、実施することができました。しかしながら、その後非密封 RI 利用が減少したため東広島キャンパスの非密封 RI 施設の集約化が議論に上りました。各部局での合意には時間がかかりましたが、各施設の主任者やスタッフ、本部関係者と一緒に集約化することができました。研究は、化学プログラムの一員として進めてきました。自身の興味で研究を進めるとともに大学院リーディングプログラムの一員としても研究を展開することができました。その間、テーマを大きく変えることもありました。研究を通して学生さんが成長する姿も楽しみでした。今後もさまざまな状況の変化があると思いますが、お世話になりました広島大学には引き続き大学人としての対応をお願いします。